



胃がん・食道がん担当

日本医科大学千葉北総病院副院長
がん診療センター長
外科・消化器外科部長

みや した まさ お
宮下 正夫

がん診療センター
がん診療連携拠点病院
初集計報告から
がん患者さんの生命予後

がんの診断・治療について単一科の医師だけでなく、
がん医療に携わる専門職が職種を越えて集まり、
患者様の症状・状態を把握し、
治療方針などを検討する場ががん診療センターです。



当院ではがん診療センターを毎月第4月曜日18:30～
大会議室にて開催しております。千葉北総病院のスタッフだけ
だけでなく、紹介元医療機関を含めた医療従事者の方々の参
加をお待ちしております。また、検討が必要な症例がござい
ましたら、がん相談支援センターまでご連絡ください。



心のもったがん治療



がん診療センターの使命

がんに関して、診療、教育、啓発、相談支援、登録などを統括的に行います

- ♡ 安全で効果的な外科療法、化学療法、放射線療法、緩和ケアの実施
- ♡ がん診療センターにおける集学的治療の導入
- ♡ がんに関する知識の普及
- ♡ がん診療に係わる人材の育成
- ♡ 相談支援の充実と実施
- ♡ がん登録の実施と登録情報の分析、発信
- ♡ クリニカルパスの推進
- ♡ がんに関する先進的な研究の促進

2015年11月11日発行

日本医科大学千葉北総病院

〒270-1694 千葉県印西市鎌刈1715
TEL 0476-99-2057 FAX 0476-99-0608
<http://hokuso-h.nms.ac.jp/page/706.html>

Our Mission to
Cancer

vol.02

がん診療連携拠点病院 初集計報告から
がん患者さんの生命予後



日本医科大学千葉北総病院
院長 清野 精彦

本年4月、当院は厚生労働省の厳正な審議のもと、東千葉印旛医
療圏「がん診療連携拠点病院」の指定を頂きました。「地域社会、地
域医療機関の先生方との連携協力体制の充実」を図り、「質の高い
がん診療」、「がん患者さんに対する相談支援」、「住民へのがん診療
情報の提供」に努めております。

今回 (vol.02) は、9月15日に公開された「がん診療連携拠点病院
の院内がん登録による5年相対生存率初集計報告」について概説さ
せていただきます。2007年に全国177がん診療連携拠点病院から登
録された約17万症例について集計した結果、わが国の全がんの5年
相対生存率は64.3%で、既存集計の地域がん登録 (58.6%) よりやや
高く、全国がんセンター協議会 (69%) よりやや低い傾向が見られま
した。部位別では、胃71.2%、大腸72.1%、肝臓35.9%、肺39.4%、乳房
92.2%でした。さらに、来年2016年からは厚生労働省厚生科学審議
会が「全国がん登録」を開始することが決定されています。わが国のが
ん診療について、がんの種類、進行度、治療内容、地域格差、施設
格差などについても報告されていく予定です。

当院は、「地域中核病院」、「高度急性期医療」、「がん診療拠点」
を基軸に、特色ある大学病院の使命遂行に努めて参ります。

地域がん診療連携拠点病院

日本医科大学千葉北総病院



胆膵がん担当

① **横室 茂樹**
 ② 外科・消化器外科 病院教授 消化器センター長
 ③ 日本外科学会 日本消化器病学会
 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会
 日本肝胆膵外科学会 日本胆道学会 他
 ④ 1986年 日本医科大学卒業
 1997～1999年 米国ペンシルバニア州ピッツバーグ大学留学
 ⑤ 胆膵領域の外科治療

⑥ 胆管、胆嚢、膵臓の悪性腫瘍は一般的になじみが薄く、診断を受けた患者様の不安は大きいと思います。わかり易い説明、ていねいな外科治療を心がけ、患者様と伴に有りたいと心がけています。



泌尿器がん担当

① **鈴木 康友**
 ② 泌尿器科 部長 准教授
 ③ 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医
 日本内視鏡外科学会 技術認定医
 ④ 1994年 日本医科大学卒業
 ⑤ 泌尿器腫瘍一般・内視鏡手術・排尿機能
 ⑥ 癌の診断治療は個性性が非常に高い疾患であるため、泌尿器科では医局カンファレンスにおいて診療方針を決定し全員が認知し、その上で担当医が十分なインフォームドコンセントを行う診療を心掛けております。



肺がん領域

① **平井 恭二**
 ② 呼吸器外科 部長 教授
 ③ 日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会、日本外科学会、日本内視鏡外科学会、日本肺癌学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本乳癌学会、AACR、IASLC、日本呼吸器外科専門医・指導医・評議員、日本外科学会指導医、日本胸部外科学会認定医、日本がん治療認定医、臓器不全研究会世話人、千葉内視鏡外科研究会世話人

④ 1990年 日本医科大学卒業
 1998年 日本医科大学第2 病理学大学院博士課程修了
 1997～1999年 米国シンシナティ大学 留学：Visiting scientist
 ⑤ 肺癌外科治療、肺癌・縦隔腫瘍に対する低侵襲手術（単孔式胸腔鏡手術）
 ⑥ 当科では呼吸器外科手術における究極の低侵襲手術を追求しています。特に早期肺癌に対する単孔式胸腔鏡手術については日本で最も多く手術をしており、現在学会やメディアなどからも注目されています。



血液がん担当

① **横瀬 紀夫**
 ② 血液内科 部長 講師
 ③ 日本内科学会（総合内科専門医）
 日本血液学会（血液専門医・指導医・評議員）
 ④ 1988年 日本医科大学卒業
 ⑤ 造血器腫瘍・血液疾患の診断と治療
 ⑥ 造血器腫瘍治療の進歩により生命予後が改善されてきた一方で、高齢者の治療継続に困難を感じることがしばしばです。地域医療連携を通じて最善の医療が提供できるように努力していきたいと考えています。



婦人科がん担当

① **鳴井 青龍**
 ② 女性診療科・産科 部長 病院教授
 ③ 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医
 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医
 日本がん治療認定機構がん治療認定医
 日本臨床細胞学会評議員
 ④ 日本医科大学卒業
 ⑤ 婦人科癌(子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌など)の診断と治療

⑥ 婦人科の臓器は、生命維持には直接こそ関係していませんが、女性としての「命」とも言うべき大切な臓器です。そこに発生する癌と、癌の性格、大きさ、進行の程度を診断し、また年齢、社会的環境、合併症の有無などを考慮しながら、おもに手術療法・抗がん剤による化学療法・放射線療法を組み合わせて戦います。



小児がん担当

① **浅野 健**
 ② 小児科 部長 准教授
 ③ 日本小児科学会、日本小児血液がん学会（専門医・指導医）、日本血液学会（専門医・指導医）
 ④ 1983年 日本医科大学卒業
 1991～1995年 米国M.D.アンダーソン癌センター留学
 ⑤ 小児の血液疾患・腫瘍性疾患

⑥ 現在、日本医科大学千葉北総病院小児科には血液を専門とする小児科医が3名おり、子供の血液疾患、腫瘍性疾患の診断治療を行っています。また院内には院内学級があり、長期入院を強いられるお子さんの勉強も行うようになっております。加えて、臨床心理士による心のケアも実施しております。



緩和ケア専従看護師・緩和ケアチーム **がん相談支援センター**

① **小泉はるか** **古山めぐみ**
 ② がん性疼痛看護認定看護師・看護係長
 ③ がん患者さんとご家族の身体の辛さや心の辛さが和らぐように、患者さんとご家族のお話を聴きながら誠意をもって関わっていききたいと思っています。



がん診療センター関係スタッフ一同

